

中間赤外線撮像観測から示唆される若い中質量星周円盤構造進化 Evolution of disk structure around the young intermediate-mass star based on the mid-infrared

本田 充彦^{1*}
Mitsuhiko Honda^{1*}

¹ 神奈川大学
¹Kanagawa University

我々は Subaru/COMICS および GeminiS/T-ReCS を用いて形成中の若い中質量星である Herbig Ae/Be 型星周りの星周円盤の 20 μ m 帯の撮像サーベイを進めてきた。その結果、空間分解できた円盤には円盤中心領域にギャップ、または穴があることが分かってきた (e.g. Fujiwara et al. 2006, Honda et al. 2010, Honda et al. 2012, Maaskant et al. submitted)。このようなギャップや穴の存在は、多波長での観測からも示されてきており、ある種の円盤については内側領域の散逸が早く進んでいることが示唆される。一方でそのような構造を示さない円盤も存在しており、円盤進化の多様性が明らかとなってきた。以上の観測状況から示唆される星周円盤構造進化の描像について議論したい。

キーワード: 原始惑星系円盤
Keywords: protoplanetary disk